

WORKS

Empower&Energize

No116

2008/6

名東福祉会は名古屋市と日進市を中心に
知的障害者を中心とする福祉活動を行っています

平成19年度 名東福祉会決算報告

理事長 加藤久和

寄付金の内訳（円） (一般会計)

	平成 19 年度	平成 18 年度
本部会計	22,535,000	12,642,632
メイトウ・ワークス	880,600	155,450
天白ワークス	985,300	154,350
はまなす	1,513,000	0
レジデンス日進	14,410,000	12,117,920
ハートフルアクト日進	17,500	0
行動療育センター	5,000	0
合 計	40,346,400	25,570,352

WORKSの紙面を借りて平成19年度の決算を報告したいと思えます。P2に社会福祉法人名東福祉会の事業収支計算書を掲載します。事業活動の総収入は4億6900万円（対前年度比5%増）、それに対し支出は4億3000万円（3.7%増）

となりました。利用料収入は3億5057万円（3.6%増）となり事業収入の74.7%を占めます。授産事業を除く寄付金については全体で4035万円（57.8%増）となり増加が目立ちます。本部会計はケアホーム建設に向けた指定寄付が大半を占め、皆様の期待の大きさを感じます。また各施設指定の寄付についても昨年に比して顕著に増加しました。

一方、事業費支出は4億3005万円（3.7%増）と抑制することに成功し、経営体質の改善につながりました。その中で給食費、旅行、行事、各種の什器器具類など、利用者の直接的な処遇に使用される事業費については4300万円（9.4%増）となり利用料収入の増加を利用者に還元で来たと考えています。

職員の人件費については2億9267万（0.6%増）となりました。これを定められた人件費率の計算に従って計算すると、経営的に危険水域といわれる70%であった人件費率が今年度は67%になりました。厳しい経営環境のもと、給料の伸びが少ないことはたいへん申し訳ないわけですが、これからは次第に経営環境が好転するものと考えており、職員の給与改善についても期待が持てます。

平成19年度は名東福祉会では給与規定を改定し、正職員化を進め、がんばった職員が適正に評価されるような体系としたことが大きかったと考えています。

ただ、改革によって福祉施設経営が大きな痛みを受けたことは間違いありません。福祉は人です。利用者中心の理念のもと、職員が育ち、「一生の仕事」として名東福祉会で勤務される人が増えるよう、職員の処遇改善、教育についてはなおいっそう努力する所存です。

平成19年度は「たけのこの家」が創出され、全国の療育家から関心を集めるなど大きな成果をあげつつあります。また、このチームが各施設の困難ケースについて分析を行い、適切なアドバイスを提供することができ、少しずつ各施設の療育技術が向上しつつあります。今後も行動療育チームには名東福祉会のタスクフォースとしての役割を担うことを期待します。

名東区障害者生活支援センターはスタッフも入れ替わり新しい体制のもと地域の福祉連携の推進役として機能しつつあります。このチームは名東福祉会の福祉理念を「外に向かつて」発信していくことを確信しています。

名東福祉会が改革のショックに耐え得たことは、職員と家族、そして地域

平成19年度社会福祉法人名東福祉会事業活動収支計算書

	H18年決算	H19年決算	2期比較
授産事業活動収支の部			
収 授産事業収入	10,641,541	13,202,016	2,560,475
入 授産事業収入計①	10,641,541	13,202,016	2,560,475
支 授産事業支出	9,984,442	15,174,255	5,189,813
出 授産事業支出計②	9,984,442	15,174,255	5,189,813
授産事業活動資金収支差額 ③=①-②	657,099	▲ 1,972,239	▲ 2,629,338
事業活動収支の部			
収 利用料収入	338,416,348	350,566,929	12,150,581
収 経常経費補助金収入	39,960,227	39,682,727	▲ 277,500
収 寄付金収入	25,570,352	40,346,400	14,776,048
収 雑収入	12,201,524	8,888,668	▲ 3,312,856
入 借入金元金償還補助金収入	4,350,000	4,350,000	
入 引当金戻入	1,436,240	941,160	▲ 495,080
入 国庫補助金等積立金取崩額	24,703,893	24,347,465	▲ 356,428
事業活動収入計④	446,638,584	469,123,349	22,484,765
支 人件費支出	291,043,404	292,670,755	1,627,351
支 事務費支出	46,576,279	51,136,668	4,560,389
支 事業費支出	36,610,613	42,959,437	6,348,824
出 減価償却費	38,431,708	42,042,735	3,611,027
出 引当金繰入	1,999,500	1,241,550	▲ 757,950
事業活動支出計⑤	414,661,504	430,051,145	15,389,641
事業活動収支差額 ⑥=④-⑤	31,977,080	39,072,204	7,095,124
事業活動外収支の部			
収 借入金利息補助金収入	1,126,049	1,023,749	▲ 102,300
収 受取利息配当金収入	25,110	233,263	
入 経理区分間繰入金支出		10,100,000	10,100,000
事業活動外収入計⑦	1,151,159	11,357,012	9,997,700
支 借入金利息支出	1,811,812	1,659,187	▲ 152,625
出 経理区分間繰入金支出		10,100,000	10,100,000
事業活動外支出計⑧	1,811,812	11,759,187	9,947,375
事業活動外収支差額 ⑨=⑦-⑧	▲ 660,653	▲ 402,175	258,478
経常収支差額 ⑩=③+⑥+⑨	31,973,526	36,697,790	4,724,264
特別収支の部			
収入 設備整備等補助金収入	1,785,000	1,180,000	▲ 605,000
収入 施設整備等寄付金収入			
特別収入計⑪	1,785,000	1,180,000	▲ 605,000
支 基本金組入額			
出 固定資産売却損・処分損	457,513	72,900	▲ 384,613
出 国庫補助金等特別積立金積立額	1,785,000	1,000,000	▲ 785,000
特別支出計⑫	2,242,513	1,072,900	▲ 1,169,613
特別収支差額 ⑬=⑪-⑫	▲ 457,513	107,100	564,613
当期活動収支差額合計 ⑭=⑩+⑬	31,516,013	36,804,890	5,288,877
繰越活動収支差額の部			
前期繰越活動収支差額 ⑮	385,235,565	378,113,008	▲ 7,122,557
当期末繰越活動収支差額 ⑯=⑭+⑮	416,751,578	414,917,898	▲ 1,833,680
その他の積立金取崩額 (+)			
その他の積立金積立額 (-)	40,000,000	13,000,000	▲ 27,000,000
次期繰越活動収支差額 ⑰=⑯+繰越活動収支差額	376,751,578	401,917,898	25,166,320

のボランティアが一丸となって協力し合った成果です。特に、家族会の皆様には多大なるご協力をいただきました。お礼を申し上げるとともに、今後ともご協力をお願い申し上げます。

ケアホーム

理事長 加藤久和

名東福祉会は昭和56年8月認可、今年で28年目の社会福祉法人だ。設立前の活動を含めると、30年の地域福祉活動となる。

障害者自立支援法は設立以来、最大の危機、最大の転換点だった。ここ数年、この衝撃に対して私たちは懸命に改革を進めてきた。ただ、「知的障害者の人たちが幸せに楽しく地域で生活していくために必要な支援を行っていかよう」という理念は設立以来、まったく変わらない。

名東福祉会が設立された当時、私は24歳。教育大の大学院で松下淑先生のもとで音声の識別や言語の獲得プロセスについて基礎的な研究をしていたころ。それまでに知的障害の養護学校で実習をしていたし、肢体不自由児の養護学校でアルバイトの教員もしていたので、知的障害の教育についてはあ

る程度経験をしていた。

小さいころから兄だけではなく、自宅に他の家族の知的障害の人たちも四六時中訪れていて、よく一緒に遊ばされていたので、こころの知的障害の人たちの介護の難しさについては知っていた。

名東福祉会の設立の準備のために、会長は私を連れて信楽青年寮に見学に行った。そのとき、幸運にも創設者の池田太郎先生に会うことができ、数時間にもわたり講話を受けることができた。そのことがその後の福祉の考え方の基礎となり、基本的な方針となった。

しがらみの街は小さな町だ。当時から入所更生施設だったが、お昼ごろになると町のあちこちの工場から寮生が昼食をとるためにひとり歩いて帰ってくるのに衝撃を受けた。

中にはいわゆる「介護度が低い」ようには見えない人も入っていた。どう考えても仕事の手伝いができるような人ではない人もいた。池田先生のすごさはそのエピソードだけでもご理解いただけると思う。

「帰ってくる場」「帰りたい場」があることは幸せの基礎だと思う。働く場、活動する場があり、役割があることは生活の糧だと思う。

ひとつの施設の中に24時間閉じ込め、活動を制限することは「帰ってく

る場」も「働く場」も同時に無くすことにつながる。

自立支援法はたいへんな悪法ではあったが、障害者のグランドデザインで示された「生き方を自ら選択することができるような仕組み」となったことは戦後の知的障害者福祉の歴史の中で、もつとも大きな進歩であったと評価することができる。

名東福祉会は新しい生活の場である「ケアホーム」の建設に着手する。利用者の人たちにとって自分の住まいと思っただけのように、しつとりとした空間を創出したい。

奈々枝日記

中日新聞の「寄り添う」という欄に、私の拙文が掲載された。その後、「同感」

「私も同じような経験をした」とたくさんの人から電話や会った時にことばをかけられて、新聞はやっぱたくさんさんの人が見ているのだと驚かされた。

95歳で亡くなった母の事を書いたのだが、一緒に住んで毎日けんかをしたり、世話をやいたり、やかれたりしたがあの頃が懐かしい。

とりわけ、今から6年前、私が心臓の手術をしたとき、90歳になろうかという身で毎日バスに乗っては病院まで来て私の足をさすっては「何もしてやれなくてゴメンネ、私より早く死んではいやだよ」とつぶやいては帰って行った。母のありがたさが身にしみたひとときであった。

私は今、58歳になる心身障害者の息子がある。私は年老いて何もしてやれない年齢になった。施設から春・夏・秋・冬の帰省で家に帰ってきてても、今では何もしてやれなくなった。

母とは一緒にいるだけの数日だったが、亡くなった私の母の心境が痛いほどわかる。母子って不思議なものだなあと思う。そして、ほかの障害を持った子の母親たちも、みんなどんな年をとっても親・子の情は誰も変わりはなく、

「この子は私が死んだら誰がめんどうみてくれるのだろう・・・」
と思ひ、

「この子のために私は少しでも頑張らねば・・・」

と思ひ続ける。自分より、大きく、力強い子どもに向かって「私が頑張らねば」と思ひ続ける。

編集室

決算報告で、今月のWORKSはたいへん硬い話だった。現在の社会福祉法人の経理は複雑、難解でとてもわかりにくくなっている。それでも何とか名東福祉会の経営状態が好転しつつあることはつかんでいただけかと思う。平成20年度はもう少し改善される材料がある。本文にも書いたが職員の仕事の待遇についてよりいっそう正職員化を進めるなど改善していくことを目指していきたい。▼名東福祉会の創立時から理事を務められていた松下先生、嶋崎先生から理事を辞したいとの申し出があった。準備期間も含めると30年もの長きにわたって名東福祉会を見守ってくださったことになる。嶋崎先生は老人ホームへ入居されるとのこと。松下先生はいよいよ悠々自適の生活に入られる。▼松下先生は編集者の大学と大学院の恩師。日本的障害者福祉連盟の会長を務められ、NHKのことばの教室も長きにわたって監修者を務められました。発達障害児の言語獲得に関する日本を代表する指導者。私は門下に入門しようとしても学業不振を理由に何度も断られたできそこないの学生であったが、よくここまで諦めもせずにご指導くださったものと、ほんとうに感謝しています。

ご寄付ありがとうございます

平成20年4月26日～5月25日

メイトウ・ワークス	永宮賢治様	後藤良昭様	レジデンス日進
山田信二様	堀禮二様	加藤公英様	吉田征一様
	水谷義孝様	加藤公英様	レジデンス日進家族会様
天白ワークス	安達恭兵様	牧公三様	
渡辺健二様		佐知輝敏様	
村山光子様	はまなす	加島美奈様	
鈴木卓孝様	山田幸造様		

名東福祉会のホームページ

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>

●社会福祉法人 名東福祉会

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4
TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●メイトウ・ワークス

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303
TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

●天白ワークス

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327
TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

●デイケア はまなす

〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911
TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

●レジデンス日進・ハートフルアクト日進

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4
TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●こいけホーム

〒465-0047 名古屋市名東区小池町 468-1
TEL 052(777)8385 FAX 052(777)8385

●天白ホーム

〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越 141-3
TEL 052(807)1578 FAX 052(807)1578

●児童行動療育センター「たけのこの家」

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上の山 14 番3
TEL 052-800-2203 FAX 052-880-2204

●メイ・グリーン

〒470-0124 日進市浅田町平池112-3